samco®

薄膜技術で世界の
産業科学に貢献する

サムコは、薄膜技術のパイオニアとしてLEDやパワーデバイスなど、
環境負荷低減に寄与するグリーンテクノロジー分野で
積極的に事業展開を行っております。
今後も、信頼性の高い製品と独創的なプロセスソリューションを提供し、
産業科学の発展と地球環境との共生に貢献してまいります。

deposition　etching　surface treatment

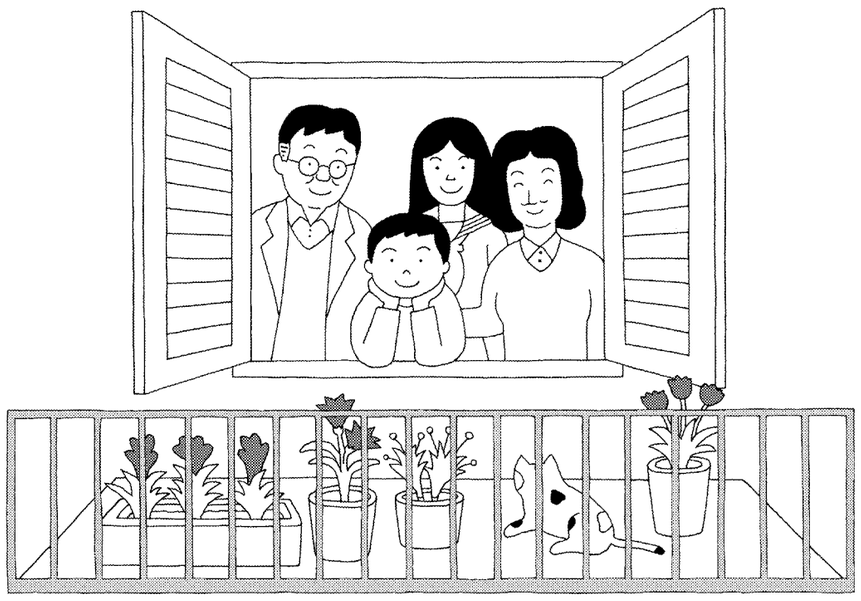
サムコ 株式会社
本　社 〒612-8443 京都市伏見区竹田藁屋町36 TEL(075)621-7841 FAX(075)621-0936
東京支店 〒141-0031 東京都品川区西五反田7-25-3(THビル) TEL(03)3492-3891 FAX(03)3495-5796
www.samco.co.jp
国内営業所 東海・つくば・仙台・広島　海外営業所 カリフォルニア・ノースカロライナ・台湾・シンガポール・上海・北京・韓国

健康未来 創ります
日本新薬
NIPPON SHINYAKU CO., LTD.
http://www.nippon-shinyaku.co.jp

人生は長い。だからこそ考えたいのは

健康寿命。

「健やかに」「いきいき」と過ごしたいものです。元気に過ごす人生の期間を「健康寿命」といいます。
日本新薬は、一人ひとりの命のために、健康寿命が延びる、そんな未来のために、新しい薬を創っています。



モノづくり先進都市 京都

有力各社の製品＆技術 PART1

太陽精機

太陽精機は製本で用いる紙折り機、丁合機、製本機、断裁機の4工程をシステムで提供できることが強みだ。印刷業界では大量印刷時代のオフセット印刷から多品種少量印刷が可能なデジタル印刷にシフトしてきており、同社がターゲットにする市場の拡大が見込める。経済成長が著しい中国など新興国向け機種も投入し、需要の掘り起こしを進めている。

専用端末の相次ぐ発売で話題となっている電子書籍の普及に伴い、紙の書籍は部数減少が懸念されている。だが、長い歴史の中で培われた紙の文化は健在だ。デジタル印刷では新用途も生まれて多品種少量のニーズが高まるなど追い風も吹く。例えば1冊ずつ異なるアルバムの作成や、注文を受けてから書籍を印刷する需要が伸びており、それらをビジネスチャンスに製本工程機の拡販を狙っている。

イシダ

イシダが展開するX線異物検出装置「IX－Gシリーズ」は、国内トップシェアを誇る。検査対象物にX線を照射して得た画像を検査する装置で、主に食品業界で利用されている。同社装置は「GA（遺伝的アルゴリズム）」を搭載。同アルゴリズムの採用により高感度で異物を検出すると同時に誤検知が起こりにくいようにした。直径0・3ミリメートルの異物を検出できる精度を持つ。

画像処理検査をする装置の性質を生かし、異物を検出すると同時に製品に欠けがないかといった欠品検査にも対応できる。箱や缶などの部分を識別する「マスキング機能」も搭載し、誤検知防止機能を充実させた。高付加価値の機能を備え、顧客から好評を得ている。最近では従来の食品業界から医薬品や健康食品業界へと採用も広がっており、さらなる用途拡大へ取り組む考えだ。

魁半導体

魁半導体（京都市下京区）は真空プラズマ処理装置の京都工芸繊維大学発ベンチャー。簡単操作の真空卓上プラズマ処理装置は粉体混合処理、ガラスやシリコンの貼り合わせ前処理の効率化に役立ち、電機やバイオなどの産業発展を支える。

今、力を注いでいるのが健康医療関連だ。従来の16倍にあたる直径40センチメートルの処理台を搭載、A4サイズのワークが処理できる真空プラズマ処理装置「YHS－A4」を4月1日に発売する。ポリエステルやナイロンなどの保水性の高い不織布開発を進めたい健康医療産業の要望に対応した。5分程度のプラズマ処理がボタン一つでできり、親水性の目安となる材料と水滴の接触角度を大幅に小さくできる。また、従来機では研究室レベルにとどまっていたガラス貼り合わせや半導体微細溝加工の前処理作業の試作量産レベルを実現する。

藤居製作所

藤居製作所は生産工程に用いる切削工具の製造・販売が主力事業。メーン製品は穴あけバリを簡単に除去する工具「インナーカット」シリーズ。金属や硬質樹脂・ゴム材料など円筒状の加工対象物（ワーク）にあけた穴の内面に生じたバリに対し、棒状ホルダー先端のカッターを回転させ除去する。「シリーズLG型」は直径1・3ミリメートル穴のバリ取りが可能。LG型より大型サイズの穴に使用する「同IC－D型」などもそろえ、販売している。

同社の製品開発へのこだわりは品種の拡充以上に使い勝手の良さを重視していること。こうした開発姿勢がユーザーの信頼性を向上させインナーカットシリーズの品質や認知度の向上を支えている。インナーカットは円筒状ワーク内を動くシリンダーの損傷防止にも効果を発揮。自動車や空調機器関連部品の精度要求に応えている。

サカノシタ

サカノシタは2012年、設立50年を迎える。機械・工具・電機・情報機器の総合商社として、長年モノづくり企業の発展に貢献してきた。顧客の生産海外移転に伴い、タイや中国へ営業所を開設。グローバルな支援体制を構築している。

同社では新たな事業展開として、省エネや省資源に貢献する環境関連商品を手掛ける。10年末には高燃焼装置を搭載しエマルジョン燃料を効率よく燃焼させるボイラ「I（アイ）ボイラー」を発売。高発熱量を確保し多様な石油燃料の使用が可能な上、加水により燃料使用量を大幅節減しCO2の排出量も半減する。

さらに今春、地元京都の企業が大学の協力を得て開発したボイラ蒸気圧調節器「バイソンサイクロン」の販売を始めた。乾燥した良質蒸気を生成し送り出すことで、従来の使用燃料を10－15％以上削減するという。

トクデン

トクデンは中周波誘導加熱装置の開発を積極的に展開。周波数50ヘルツ以上1000ヘルツ未満を中周波に規定し設計・製作を実施している。誘導加熱は被加熱体自身が自己発熱する直接加熱であることから、高効率で制御性に優れた特性を持つ。おもな用途は釜加熱やロータリーキルン加熱、金型加熱、熱風発生機、過熱水蒸気発生装置、流体加熱装置など。ユーザーの生産・加工体制に沿ったオーダーメードの要求にも応えている。

同社が展開する開発技術はインバーターを使用せず変圧器の結線によって中周波を電源周波数の奇数倍で発生させる。そのため低コストで堅ろう、長寿命といった特徴を発揮した電源装置が提供できる。また、商用周波から中周波は高周波に対し誘導電流の浸透度が深く、工業用設備で一般的な肉厚系対象物の加熱に適しているという。

洲崎鋳工

洲崎鋳工は鋳物とオートリール（ケーブル巻き取り機）のメーカー。多様な顧客ニーズに対応したモノづくりに加え、メンテナンス体制の強化によるアフターフォローの拡充に力を注いでいる。

主力のオートリールは1963年発売。同社の精密機械部が製品の改良や改善を重ね、長寿命で安全性の高い製品を提供している。巻き取り機の駆動方式もスプリング式をはじめ、電動式や手動式など、さまざまなタイプを生産。ケーブルにおいても動力用や制御用、計測用、極太ケーブルや特殊ケーブルなど多種に対応できる機種をそろえた。さらに、大半の機種でピボットベース（180度首振り台）などオプション品の取り付けが可能。ケーブルを引き出した場合に張力をかけずに停止させる「ストップ装置」を組み込むなど、顧客の使いやすさを優先した発想で開発を進めている。

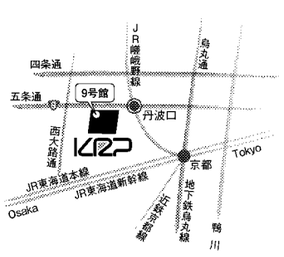
京都、最先端。

京都を代表する最先端オフィスビル、
京都リサーチパーク9号館。

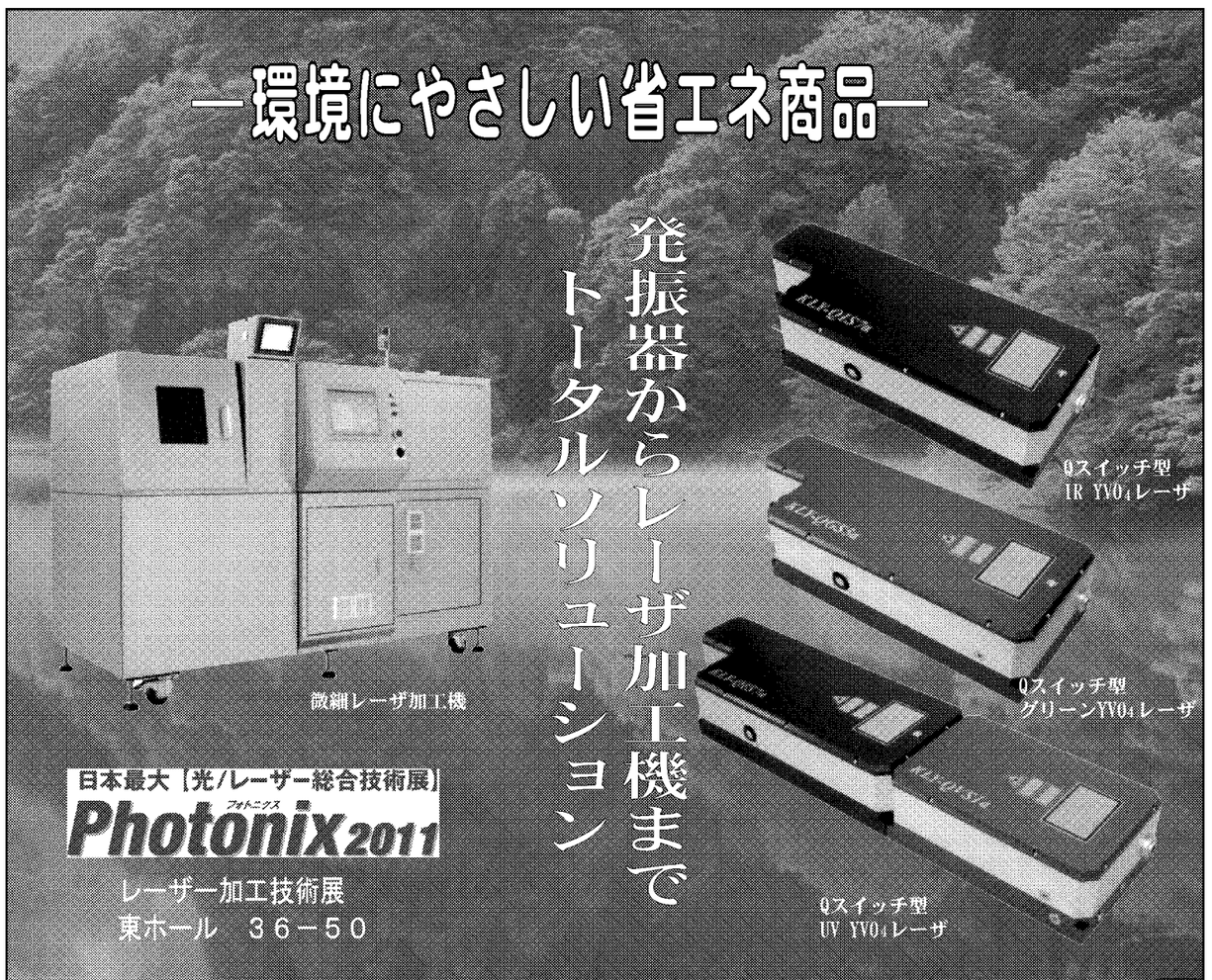
Design
京町家の風情と快適性を
巧みに取り込んだ
新しい景観を創造。
9号館はデザイン性にもこだわりました。京町家の風情を取り込んだ「昇り庭」、「縁側」、「縦格子」、「前庭」等を現代的にアレンジして随所に採用しています。

Office
100㎡～1,300㎡までの
幅広いニーズに
対応しています。
幅広いオフィスニーズにお応えできるよう、100㎡から京都では希少な1フロア1,000㎡超のニーズに対応可能な設計です。また、天井高は2,700mmの開放感あふれる空間を創出。

Security
24時間365日、
人の目が見守る
管理体制。
管理センターから、9号館を24時間365日有人監視しています。さらに各階のエレベーターホール、各オフィスと2段階にオートロックを採用しています。



KRP9号館の詳しい概要はホームページをご覧ください。
www.krp.co.jp/bldg9
●お問い合わせは
075-315-9333
京都リサーチパーク営業推進部まで
京都リサーチパーク株式会社
〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町93 TEL 075-315-9333



レーザテクノロジーで躍進する
株式会社 片岡製作所
KATAOKA KYOTO JAPAN
本　社／〒601-8203 京都市南区久世築山町140 TEL:(075)933-1101㈹ FAX:(075)931-1608
東京支店／〒104-0031 東京都中央区京橋1-14-9依田忠ビル6階 TEL:(03)5524-3411㈹ FAX:(03)3563-9710
先端レーザ研究所／〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-14-27 TEL:(045)477-3290㈹ FAX:(045)477-3299
ホームページ http://www.kataoka-ss.co.jp